

1 題材名 曲のよさをプレゼンテーションしよう

2 題材の目標

- 旋律や構成，強弱，音の重なりなど音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。(音楽への関心・意欲・態度)
- 知覚・感受したことや，それらの関わりを解釈したり価値を考えたりしながら言葉で表し，根拠をもとに友達と意見を交流することで，自分の考えを深め，音楽のよさや美しさを味わって聴く。(鑑賞の能力)

3 題材について

組曲「展覧会の絵」は，絵画にちなんだ10曲に加え，「プロムナード」と呼ばれる部分が，何度か形を変えて冒頭や曲間で演奏される。特に第1プロムナードは，出だしの単音の旋律が次に和音となって旋律が反復され，第5プロムナードの出だしとよく似ている。しかし，第5プロムナードは，オクターブで旋律が始まることにより，第1プロムナードよりも低い音が混じり，より深みが増している。「プロムナード」はCMなどでも流れており，生徒にもなじみのある曲である。〔共通事項〕に着目し，それぞれの「プロムナード」がどのような違いを生み出しているのか，生徒が知覚・感受し，友達と協働しながら，音楽のよさや美しさを味わうことができる教材である。

本学級の生徒は，批評文に意欲的に取り組む生徒が多いが，根拠を明確にもって述べることができる生徒には個人差がある。また，自分の批評文を全体の場で発表することができる生徒はいるものの，友達の批評文を聞き，新たな価値につなげることができたと実感する生徒は少ない。このことから，自分で楽曲に対して考える主体性はあるが，相手に伝えるだけになってしまっている。

そこで，電子黒板を使用して，全員で第1プロムナードを鑑賞し，音楽の要素と雰囲気結びつけて自分の考えをもてるようにする。生徒が聞き取ったこと，言葉で表したことの整合性を図るため，生徒の発表時には，その都度，電子黒板で特定の部分を限定して再生することで，全体で共有できるようにする。また生徒一人一人がタブレットを活用し，グループごとに異なった他のプロムナードを鑑賞する。タブレットの中には，あらかじめ第1プロムナードと，グループごとに異なったプロムナード1曲を入れておくことで，第1プロムナードと交代で聴いたり，1曲を部分的に繰り返して聴いたりするなど，個人の鑑賞スタイルに合わせて聴くことができるようにする。さらにジグソー学習を取り入れ，1回目は，自分と同じプロムナードを聴いたグループ，2回目は他のプロムナードを聴いたグループで交流することによって，自分の考えを深めていく。その後，再度自分の聴いたプロムナードの評論を赤字で追加・修正することで，自分の思考がどう変化していったか，学びの振り返りを生徒自身ができるようにする。

4 題材の指導計画及び評価計画（5時間扱い）

第一次 第1プロムナードを鑑賞し，作品の特徴を踏まえた自分の考えをもつ。（2時間）

第二次 友達と意見交換を行い，自分の解釈や価値を再確認しながら，考えを深める。（3時間）

時間	学習活動・内容	観点		評価の規準
		関	鑑	
①	タブレットでプロムナードを鑑賞し，同じグループの友達と意見交流をする。		○	・考えを他者と交流する中で，互いの気付きを共有したり，違いを見つけたりすることで，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

2	自分と異なるプロムナードを聴いた人たちとの交流を通して、5つのプロムナードの違いを知る。	○	・考えを他者と交流する中で、互いの気付きを共有したり、違いを見つけたりすることで、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
3	改めて自分の考えをまとめ、展覧会の絵の他の部分の作品について知る。	○	・友達と意見交流したことを生かして自分の考えを深め、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

5 本時の指導

(1) 目標 作品について自らの考えを他者と交流する中で、互いの気付きを共有したり、違いを見つけたりすることで、音楽のよさや美しさを味わって聴く。

(イ) 展開

学習活動・内容	指導・支援上の留意点及び評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。(一斉)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> タブレットで音源を聴き、自分の考えをグループの人と交流しよう。 </div> <p>2 自分の考えをもつ。</p> <p>(1) タブレットの使い方を確認する。(一斉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音源ファイルの開き方 ・音量、再生、リピート、戻る等の操作確認 <p>(2) それぞれのプロムナードを聴き、ワークシートに記入する。(個人)</p> <p><聴き取ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・強弱の変化 ・単音と和音が順番に出てくる <p><曲の雰囲気></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寂しい感じ ・話しているような感じ <p><関わりを述べる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単音→和音が繰り返されるので、対話しているように感じる。 <p>3 音源が同じグループで集まって交流する。(グループ)</p> <p>(1) グループで集まって、順番に考えを述べていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○になっているところが～～～に感じ、●●●●のようにイメージした。 <p>(2) 質問をして、グループの考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分とは違う意見だったけど、それを感じたのはどこですか。 ・みんなが共通している部分はどこかな。 <p>(3) ワークシートにグループの人の考えを書き足したり、自分の考えを修正したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い音で、ゆっくりと旋律が流れる部分では、ひとりぼっちになってしまった寂しさのようなものを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のワークシートを振り返る時間をとり、「音の重なり」や「構成」などを表す言葉の使い方などを復習する。 ・タブレットの操作の確認をするために、第1プロムナードを端末で聴き、音量や再生の操作がスムーズにできるようにする。 ・タブレットの画面を拡大印刷して掲示し、端末の操作を、図で見ても確認できるようにしておく。 ・何度も繰り返したり、第1プロムナードを振り返って聴いたりしてもよいことを伝え、主体的に活動できるようにする。 ・机間指導を行い、抽象的な言葉を書いている生徒には、「どの部分か」「詳しく説明すると」などの切り返しを行い、具体的に記入できるようにする。 ・「ゆっくりになったから暗い感じがした」などの意見には、「それ以外にも暗さを感じる原因がないか」を問い、複数の要素に気付くようにする。 ・次時では、音源の違うグループで交流することを伝え、見通しをもって話し合いができるようにする。 ・発表する時には、根拠となった部分の音源を再生するよう伝え、言葉だけでなく、音を介してコミュニケーションがとれるようにする。 ・友達の発表を聴いて、質問や協議をする時間を設け、次のグループで発表する際の助けや自信になるようにする。 ・友達の考えを聞いて、追加や修正がある時には、自分のワークシートに赤ペンで書き足すよう促す。

<p>(4) 曲の雰囲気を発表し、次時の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るい感じの雰囲気 ・ゆっくりした感じ ・暗くて、雨の中にいる様子 <p>4 本時を振り返り、次時の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ曲でも、感じ方が違うところがあった。 ・自分が気付かない部分が友達から聞いた 	<p>評 作品について自らの考えを他者と交流する中で、互いの気づきを共有したり、違いを見つけたりすることで、音楽のよさや美しさを味わって聴く。【鑑賞の能力（ワークシート、話し合いの様子）】</p> <p>【規準に達しなかった生徒への手だて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表を聞いて、自分と違う考えをメモするようにする。 ・数名を指名し、本時の振り返りをしながら、互いに学び合った点をほめ、次時の活動への意欲づけをする。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------